

問 環境価値を高める農地利用は

答 地域と共存する利用へ



豊創会 村上 孝 議員

議員 住宅地の狭間にある農地を有効利用するため、家庭菜園など積極的な利用を図る施策を。

建設農政部長 家庭菜園は自給自足や生産物販売の楽しみが体験でき、地域農業への理解を深めることができる重要な取り組み。検討を行い拡充に努める。

議員 認定農業者は、本村の農業を支える中心的な経営体。認定農業者の支援について伺う。

建設農政部長 経営規模の拡大に伴い、導入する農業機械も大型化が進んでいることから、機械購入に伴う補助金の上限額引き上げを行った。(100万から200万)



議員 東新川は3年連続増水。改修工事の進捗状況と対策を伺う。

建設農政部長 東新川改修工事は本年度スタートさせ、堤体補強などを進め、真崎浦地区の湛水防止の強化に努めている。久慈川については、想定を超える集中豪雨により、湛水被害が生じやすい状況。機場に流れ込む排水量等について調査し対策手法を検討する。

問 東新川と久慈川の増水対策
答 対策手法を検討

問 中央地区区画整理地内の整備状況は

答 32年度末までに順次整備予定



新政とうかい 大内 則夫 議員



図1 中央地区道路の整備状況

議員 中央地区区画整理地内の主な道路整備状況を伺う。

建設農政部長 図1に記載してあるように、勝木田下の内線の一部は平成29年度暫定開通、31年度開通予定、先の原研通りまでは事業計画。石橋向荒谷台線は、32年度までの整備計画を進めている。